

# 大阪府市場だより

第350号  
 (令和3年4月26日)  
 発行  
 大阪府中央卸売市場協会  
 茨木市宮島1-1-1  
 TEL: (072) 636-3698  
 FAX: (072) 636-3699  
 36983699@iaa.itkeeper.ne.jp

## 新年度のスタート

### 定例常駐代表者会議

四月十五日に管理棟七階で開催されました。

棟冷凍設備の改修に取り組むことが示されました。

■議題一(開設者からの報告)  
 ①令和二年度の取扱高  
 市場全体の取扱高は速報値で金額ベース約904.6億円(前年度比1%増)、直接集荷は金額ベースで126.2億円(同13.1%増)となっています。

④その他  
 新型コロナの感染者が判明した場合の公表方法について開設者のホームページでの公表のみとすることとされました。

なお、山口議長から公平公正の確保の観点を踏まえ直接集荷の把握はしっかりとするよう依頼されました。

四月二十八日に府転入職員の内視察を実施されるとのこと。

②府議会での質疑等  
 うらべ走馬議員(自民・茨木市)が「市場のあり方検討の進め方」などについて、環境農林水産常任委員会でも知事に質問されました。

■議題二(管理Cからの報告)  
 木製廃棄パレットについて議論されました。(報告の全体詳細は次頁に掲載)。

### ③工事予定

(質疑応答要旨を配布)  
 府実施分として高圧受変電設備と中央監視設備の改修が、そして、管理センター実施分として水産仲卸A棟低圧共用幹線設備と冷蔵庫

一日当たり四百枚程度の廃棄となりコスト負担が大きな問題と指摘。  
 外部からの持ち込みも危惧されることからチェック体制を強化することになりました。

さらに、利用可能なパレットも破棄されているのではないかとの意見が出され、議長から卸に対し、できるだけ産地に持ち帰るよう働きかけてほしいとの依頼がなされました。

最後に衛生検査所から改正食品衛生法の説明があり、本年六月からHACC P制度の完全義務化、営業許可・届出制度等が施行されるので、相談を承るとの報告がありました。



絵:「たけのこ」山本美早紀(大阪北部中央青果(株))

産地と連携した販売の促進

管理センターのコーディネートにより、JAひだと徳島県関西本部、(株)大水北部支社が連携した新たなプロジェクト「飛騨高山で徳島県の魚を魅せる！」のキックオフミーティングが三月八日にリモートで行われました。



会議では、商品に込める熱い想いやJAひだ管内における鮮魚の流通経路、販売状況などについて幅広く議論が交わされました。岐阜県は「海なし県」であるため、特に新鮮な活魚を販売戦略のターゲットにしたいとされています。

また、特に輸送手段をどのように組み合わせたいのかなどの課題も提起され、各課題の条件整備を進め、夏頃までには販売をスタートさせたいとしています。

献血の実施

青果卸売協同組合は、恒例として献血を実施しています。

四月九日に大果大阪青果(株)の協力により同社のせり場で実施。三十八名の方が協力しました。



感謝状の贈呈

場内で起きたボヤを発見し迅速に消火活動にあたり、被害を最小限に抑えたとして、森久子市場長からの感謝状と山口秀雄管理センター社長から表彰状と副賞が贈られました。贈られたのは、(株)北清商店(坂井明洋社長)の従業員薩摩文雄さんです。ボヤは三月二十五日午前、青果ごみ置き場で

発生。薩摩さんは煙があがっているのを見つけ、迅速に初期消火にあたり小火に食い止めることができました。森場長からは「鋭い観察力が被害を最小限に食い止めることに繋がりました。」、管理センター社長は「このような場面に直面したとき、なかなか行動に移すことは難しい。行動力の素晴らしいさに感銘を受けました。」と讃えました。



(株)北清商店 坂井社長 森場長 薩摩氏 山口社長

令和2年度 取扱高

| 卸売業者名         | 種類    | 数量 (kg)     | 前年比%  | 金額 (円)         | 前年比%  |
|---------------|-------|-------------|-------|----------------|-------|
| 大阪北部中央青果(株)   | 野菜    | 41,871,480  | 94.7  | 9,517,765,786  | 105.8 |
|               | 果実    | 12,055,095  | 100.6 | 4,871,600,762  | 106.7 |
|               | 小計    | 53,926,575  | 96.0  | 14,389,366,548 | 106.1 |
| 大果大阪青果(株)北部支社 | 野菜    | 76,265,535  | 96.6  | 16,223,390,362 | 107.3 |
|               | 果実    | 36,863,748  | 94.7  | 14,563,129,309 | 100.8 |
|               | 小計    | 113,129,283 | 96.0  | 30,786,519,671 | 104.1 |
| 青果計           | 野菜    | 118,137,015 | 95.9  | 25,741,156,148 | 106.8 |
|               | 果実    | 48,918,843  | 96.1  | 19,434,730,071 | 102.2 |
|               | 小計    | 167,055,858 | 96.0  | 45,175,886,219 | 104.7 |
| (株)うおいち北部     | 生鮮水産物 | 13,250,451  | 100.8 | 10,325,937,908 | 87.8  |
|               | 冷凍水産物 | 1,941,778   | 91.7  | 2,187,953,440  | 93.4  |
|               | 加工水産物 | 5,634,306   | 96.6  | 6,442,608,754  | 101.4 |
|               | 冷凍食品  | 1,965,207   | 101.2 | 1,062,226,815  | 103.7 |
|               | 小計    | 22,791,742  | 98.9  | 20,018,726,917 | 93.2  |
| (株)大水北部支社     | 生鮮水産物 | 5,697,524   | 90.1  | 5,397,943,050  | 84.8  |
|               | 冷凍水産物 | 867,691     | 84.8  | 1,099,390,584  | 87.4  |
|               | 加工水産物 | 5,452,069   | 101.3 | 5,169,652,182  | 99.9  |
|               | 冷凍食品  | 1,927,199   | 100.5 | 985,362,019    | 101.0 |
|               | 小計    | 13,944,483  | 95.2  | 12,652,347,835 | 91.9  |
| 水産物計          | 生鮮水産物 | 18,947,975  | 97.3  | 15,723,880,958 | 86.7  |
|               | 冷凍水産物 | 2,809,469   | 89.5  | 3,287,344,024  | 91.3  |
|               | 加工水産物 | 11,086,375  | 98.9  | 11,612,260,936 | 100.7 |
|               | 冷凍食品  | 3,892,406   | 100.9 | 2,047,588,834  | 102.4 |
|               | 小計    | 36,736,225  | 97.5  | 32,671,074,752 | 92.7  |
| 卸売業者計         |       | 203,792,083 | 96.2  | 77,846,960,971 | 99.3  |

人事異動

大阪府

《転入》▽「流通対策室」流通対策室長(環境農林水産総務課長)金丸忠司▽流通対策室市場担当課長(水産課参事)岡野健一▽「中央卸売市場」課長(指導・業務担当)(環境農林水産総務課課長補佐)上田知弘▽課長(管理担当)(議会総務課主査)木村和貴▽主査(管理担当)(住宅経営室施設保全課主査)高野明▽主事(総務企画・会計担当)(成長産業振興室産業創造課主事)白木郁実

令和三年度 食品衛生検査予定

食品衛生検査所では、大規模流通拠点である大阪府中央卸売市場及び加工食品卸売団地施設内の食の安全を確保するため、今年度も昨年度同様2850件の検査を予定しています。

当(小園誠樹)▽住宅経営室住宅整備課主査(主査(管理担当))井上理▽福祉総務課副主査(主事(総務企画・会計担当))林良祐

《退職》▽(流通対策室市場担当課長)岸秀雄 大阪府食品衛生検査所 《転入》▽主査(守口保健所主査)山口宏嗣▽技師(採用)勝股里依 《転出》▽茨木保健所(副主査)傍島慧美▽食品衛生広域監視センター(副主査)西田奈央

細菌検査予定

Table with 2 columns: 期間 (4月~10月, 11月~3月, 年間, その他) and 検査項目 (マグロ、刺身等の生食用鮮魚類, ホタルイカ、場内加工鮮魚, うなぎ・あなご等の加工品, カット野菜・フルーツ、スプラウト、海藻、ケン等, 弁当、そうざい、漬物、給食施設等の調理品, 生食用かきの細菌規格, 食肉, マグロ魚体のふき取り, 釜揚げしらす、かますご、せこがに等季節物, 施設及び器具の清浄度検査 (重点監視事業))

理化学検査予定

Table with 2 columns: 期間 (6・8月, 7・12月, 8・1月, 11月・2月, 11月~3月, 12月, 年間, その他) and 検査項目 (マグロ、鮮魚のヒスタミン, 加工食品等の食品添加物 (保存料、甘味料、着色料), 明太子、鯨肉ベーコンの発色剤, 場内加工エビの二酸化イオウ, 生食用かきの塩分濃度、鮮度, ふぐ及びその加工品のふぐ毒, 野菜・果実の残留農薬、防ばい剤, 生鮮食品の放射性物質, ちりめんの過酸化水素, 養殖鮮魚等の合成抗菌剤、抗生物質, 絵符の蛍光染料, ヒラメ、マグロの寄生虫 (クドア・セブテンブクタータ), 施設及び器具の清浄度検査 (重点監視事業))

季節物や流通量の多い物など様々な食品を的確に検査するため、表に掲げた項目について計画的に進めてまいりますので、「ご理解、ご協力のほどよろしくお願ひします。 なお、新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえ、今後の検査予定が変更となる可能性があります。

さて、これまでに何度か本誌上等においてお知らせしてきました「HACCPに沿った衛生管理」がこの6月に完全義務化されます。各店舗の業態に沿った「衛生管理計画」の作成・実施・記録について、未対応の場合はお急ぎください。 加えて、新しい営業許可区分による「食品営業

許可」と「営業届出制度」がスタートします。これらについてはまた別の機会にご案内する予定です。 当検査所としても、適切な時期に講習会や個別指導等によりサポートを実施する予定です。 食品衛生に関するご質問やご意見等ありましたら、食品衛生検査所までご連絡ください。

## 令和二年度の実績等

### 管理センターからの報告

#### ■活性化事業

・令和二年度の実績  
八千五百万円分を実施。

・令和三年度の予定

#### ○ハード整備

水産せり場床面の改修工事等（十四～十五番柱を四月十五日～五月十九日、十五～十六番柱を五月二十七日～六月三十日に実施予定）。

#### ○ソフト事業

大学連携（四月二十九日の梅花女子大学オープンキャンパス等）。

#### ■維持補修事業

・令和二年度の実績

二百四十五件、七千五百六十五万円分を実施。

・令和三年度の状況

現在まで十一件、一七六万円分を実施。

#### ■大阪府依頼事業※

・令和三年実施分

水産仲卸A棟低圧共用幹線設備と冷蔵庫棟冷凍設備の改修。

※府の財源で管理Cが代行

#### ■ごみ関連

#### ▽不法投棄

三月は九件（対策開始前に比べ93.2%減少したが今は微増傾向）。

#### ▽青果くず排出

・令和二年度の実績

対前年比で排出量25.4%減少、処理費用も19.1%減少したが、今は微増の状況。

#### ▽木製廃棄パレット排出

・令和二年度の実績

対前年比で排出量13.4%減少、処理費用は229.8%増加。

#### 《対策》

外部の持ち込み禁止の徹底（Cごみ置場でのチェック体制の強化）、利用可能なパレットの再利用の促進を図る。

#### ■クラス対策

・令和二年度の実績

二百四十五羽（固定式捕獲籠百七十一羽、水産A、Cごみ置場七十四羽）。

#### ■禁煙対策

・十四日までの実績

通告書交付（違反者）二百五十二件（うち場外六十一件）、警告書交付（再違反者）二十四件。

#### ■市場施設等再整備

#### ■構想策定検討委員会

青果分科会を十四回、水産分科会を十三回開催、現在最終報告書案の追加項目作業中。

#### ■その他

・正門出入口付近舗装改修工事

市と協議済み、五月に着工予定。

#### ・近郷売場駐車場の再編

四月～五月着工予定。

#### ・スプリングラー破損事故

青果大通りで四月十一日にウィング車による破損事故が発生、防犯カメラ及び北果の協力を得て原因者を特定し求償予定。



## 消防訓練の実施

府市場の消防訓練が管理センターの主催で、三月二十三日に茨木市消防署の指導のもとに実施されました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策（マスクの着用・アルコール消毒及び検温）を行った上、規模を縮小し、市場関係者二十八名が参加しました。

西田市場協会安全部会長が「阪神・淡路大震災や東日本大震災、平成三十年の大阪北部地震や台風二十一号による大規模な災害が発生し、更には南海トラフ巨大地震の発生が想定されており、この機会に火災時にどのように対応すべきか等、緊張感をもって訓練に参加していただきたい」と挨拶。

次にAEDについて消防署員による説明と参加者による体験訓練



その後、一階駐車場で消防訓練を実施しました。



の後、火災発生時の想定で通報連絡の訓練を行った後に、全員が管理棟七階から地上へ階段を使って避難を行い、会社・団体ごとの人数の確認を行いました。